



作成：松柏小学校

## Chromebookを用いた業務改善

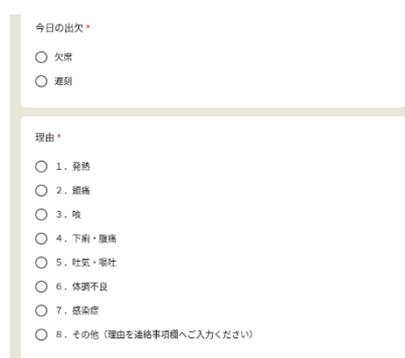
～Formsのアンケート機能を使い、朝の欠席連絡を効率化～

【内容】朝の忙しい時間を少しでも児童と向き合えるように！

【使用アプリ】Forms、スプレッドシート

【事例紹介】

松柏小学校では、10月から欠席連絡を電話からQRコードを読み取って送信してもらうシステムへ切り替えました。朝の忙しい時間に日直が職員室に釘付けになることや、コロナやインフルエンザが流行った時には電話が鳴りやまなかった等、教室で児童を迎え、向き合う時間の確保が難しかったです。しかし、導入初日からぱったりと電話が鳴らなくなり、各々の教員が、朝の児童との時間に余裕を持てるようになりました。QRコードが読み取れない、連絡が遅くなった等の理由で数件電話が鳴る日もありますが、以前のように日直が職員室から離れられないということはなくなりました。また、教員用のchromebookがあれば、どこでも確認をすることができるので、内線がない学校ほどおすすめです！以下に詳細を載せておきますので、まだ電話での対応をされている学校は是非導入をご検討ください！！



保護者には事前に QR コードを載せたプリントを配布しました。  
欠席や遅刻の際は、QRコードを読み込むと左の画面に遷移します。各項目をチェックして送信すると完了です。  
欠席理由は健康観察の理由と合わせています。

保護者から送信された情報は、ドライブで共有しているページから全ての先生が確認可能です。  
クラスごとのタブを作っておくことで、自分のクラスだけを確認することもできます。

| 日付時間                | 学年・組・名前 | 欠席遅刻 | 理由・連絡事項   |
|---------------------|---------|------|---|
| 2023/12/06 7:06:29  | 1年 豊組   | 欠席   | 1. 発熱   |
| 2023/12/06 7:09:05  | 1年 豊組   | 欠席   | 6. 体調不良   |
| 2023/12/06 7:09:17  | 2年 花組   | 欠席   | 6. 体調不良   |
| 2023/12/06 7:16:17  | 1年 豊組   | 遅刻   | 6. 体調不良   |
| 2023/12/06 7:22:21  | 1年 月組   | 遅刻   | 8. その他 (理由を連絡 予定の時間から遅刻する予定で、時間に入っていないのですが大丈夫です)  |
| 2023/12/06 7:28:00  | 2年 豊組   | 欠席   | 8. その他 (理由を連絡 予定の時間から遅刻する予定で、時間に入っていないのですが大丈夫です)  |
| 2023/12/06 7:29:12  | 6年 花組   | 欠席   | 8. その他 (理由を連絡 1週間前からリモート入る予定で、時間に入っていないのですが大丈夫です) |
| 2023/12/06 7:30:02  | 1年 花組   | 欠席   | 6. 体調不良   |
| 2023/12/06 7:57:26  | 6年 花組   | 欠席   | 2. 頭痛   |
| 2023/12/06 8:01:42  | 3年 月組   | 欠席   | 8. その他 (理由を連絡 昨日は遅刻ありがとうございました。元気なのでお休みしました)      |
| 2023/12/06 13:06:19 | 6年 豊組   | 欠席   | 1. 発熱   |
| 2023/12/06 13:06:51 | 6年 豊組   | 遅刻   | 8. その他 (理由を連絡 テスト送信です)                            |
| 2023/12/06 13:07:22 | 6年 豊組   | 欠席   | 4. 下痢・腹痛  |

【終わりに】

本システムは、授業以外でもchromebookをうまく使えることはないだろうかという相談をICT支援員さんにしたところ、他校の事例を教えていただき、そこから本校に合った形にアレンジを加えて導入しました。今のところ大きな問題点は出ておりませんが、年度をまたぐ際には、新しくページを作り直したり、QRも配布し直したりとどうしても作業が出てまいります。そういった点も含め、引き続きICT支援員さんと連携をとりながらより効率的な運用を行っていきたく思います。

☆教育委員会指導主事より☆ 校務DXにつながる事例の報告ありがとうございました。今年度学校ホームページのシステムが変更になりました。新しいシステムではパスワードで保護されたページを作成できるようになっており、(12/26HP講習会にて情報提供あり) これらを組み合わせることで先生方の負担軽減に寄与するシステムが構築できるかもしれません。